

## 門真ネット企業プレゼン会 Vol. 8

### 積極的なオリジナル商品開発と地域貢献を両輪に

有限会社アイ・ネット コーディネーター 松本 昌太郎 氏



有限会社アイ・ネットは、ポリエチレン袋、ネット袋、ゴムバンドなどの包装資材の製造販売を行っており、包装資材販売会社に永年勤務した野田社長が平成 15 年に設立した。まず、取組んだのがガゼット（マチ付）ネットの研究開発。以前より顧客の要望が強い商品であったが、当時、世にはなかった。ガゼットネットは一見するとシンプルであるが、伸縮性に富むネットが、工程中で捻じれるなど、その成形は奥が深くノウハウが必要。元々技術屋ではない野田社長ではあるが、国や府の補助金等うまく活用し、苦心ののちにガゼットネット量産機の開発に成功し、関連特許も取得した。

ネット袋は野菜や果物の包装資材としてのイメージが強いが、マチを付け、またカラフルな素材を用いることで、「包装資材」から「インテリア」に一変する。例えばワインや雑貨などを入れると、商品をより引き立たせる効果がある。（写真）このような特徴から、同社のガゼットネットは上市以降、引き合いが絶えず、酒屋、お菓子屋、卵屋に至るまで幅広い業界に納品されている。

「これからはメーカー自身が市場を創出する必要がある。これは大手しかできないと思われがちだが、中小でもインターネット等を活用すれば充分可能。」と松本氏は語る。

次に同社の特徴は、障がい者雇用を通じた社会貢献。同社は創業以来ベトナムを中心とした海外での生産を行ってきた。平成 22 年、地域の活性化に貢献するため、門真市内の本社内に障がい者作業所を設置、障がい者雇用を中心とした国内生産を開始した。生産量、スピードは劣るものの、付加価値の高い小ロット品の生産に特化することにより、ビジネスと社会貢献の両立に成功している。

また同社はベトナムを中心に海外生産を実施しているが、これは野田社長が同国の市場開放以前より、永年にわたりベトナム人留学生のホームステイを受け入れていたことがきっかけ。留学生を通じ、徐々に現地政府や国営企業との人脈や友好関係を構築、現在に至るまで同社の大きな財産となっている。ベトナムでのビジネス等についてお知りになりたい場合は、一度、野田社長に相談いただきたい。

同社の今後の展開として検討しているのはガゼットネットの量産対応。展示会への積極的なPRにより、大型の引き合いが寄せられるようになり、それに対応するため、先般、自動機を本社工場に設置。しかし、今後安定した生産を確保するため、装置の改良などが必要であり、現在そのパートナーを探している。一品モノの装置のメンテナンスや改造ノウハウを持つ企業様、またはお存じの方は、ぜひ同社にお声かけいただきたい。

**【企業データ】**

有限会社アイ・ネット

社会貢献と両立できる新商品開発、ビジネスモデルを構築

住所：〒571-0053 門真市泉町 1-23

TEL：06-6900-5327

URL：<http://www.ainet.co.jp/comapny/index.html>